

大口径広角単焦点 L レンズ“RF35mm F1.4 L VCM”を発売
優れた描写性能と大きく美しいボケ味により静止画・動画の表現領域を拡大

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、大口径広角単焦点レンズ“RF35mm F1.4 L VCM”を 2024 年 7 月上旬に発売します。



“RF35mm F1.4 L VCM”



画面全域での高画質を実現



アイリスリングの搭載などにより
映像制作のニーズにも対応

“RF35mm F1.4 L VCM”は、画面全域での高画質に加え、開放絞り値 F1.4 による大きく美しいボケ味や電子式フローティングフォーカス制御の採用による優れたフォーカス性能を実現する「L (Luxury)」レンズです。昨今の高性能で機動性に優れた撮影機材のニーズの高まりに対し、「RF24-105mm F2.8 L IS USM Z」(2023 年 12 月発売)に続き、静止画撮影はもちろん本格的な映像制作に貢献する本レンズを投入するとともに、今後も同コンセプトのレンズを拡充することで、ユーザーの幅広いニーズに応えていきます。

■ 開放絞り値 F1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を実現

開放絞り値 F1.4 による大きく美しいボケ味を生かし、被写体を際立たせた表現が可能です。夜間や室内などの暗いシーンにおいても、感度を上げずに撮影できるため、ノイズの少ないクリアな静止画・動画撮影を実現します。また、「非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ^{※1}」2 枚を効果的に配置した 11 群 14 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域で高画質を達成しています。

■ VCM^{※2}とナノ USM を組み合わせた電子式フローティングフォーカス制御の採用による快適な撮影

重い大口径レンズ駆動に適した「VCM (ボイスコイルモーター)」と「ナノ USM (超音波モーター)」を組み合わせた電子式フローティングフォーカス制御により、優れたフォーカシングを実現します。EOS R シリーズのデュアルピクセル CMOS AF とのコンビネーションにより、高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせが可能です。また、動画撮影時のフォーカス操作に伴い画角変動が生じる「フォーカスブリージング」を徹底的に抑制する優れた光学設計により、画角変化の少ない安定した構図での動画撮影を実現します。

■ 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

「EF35mm F1.4L II USM」(2015 年 9 月発売)と同等以上の高画質を実現しながら、質量を約 760 g から約 555 g に軽量化、全長を約 105.5mm から約 99.3mm に短縮し、優れた機動性を発揮します。また、シネマレンズに近いクリック感なく絞り値の変更ができるアイリスリングの搭載により、動画撮影時におけるボケ味や露出の調整をより直感的にコントロールすることが可能です。

※1. UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラスを用いたレンズ。

※2. 磁石のエネルギー (磁場) を媒体として、電気エネルギーを運動エネルギーに変換するアクチュエータ。駆動用マグネットが作る磁場の中をコイルが前後に動き、コイルが固定されたフォーカスレンズユニットをリニア駆動します。

製品名	価格	発売日
"RF35mm F1.4 L VCM"	オープン価格	2024年7月上旬

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0002 (直通)

〈“RF35mm F1.4 L VCM”の特長〉

1) 開放絞り値 F1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を実現

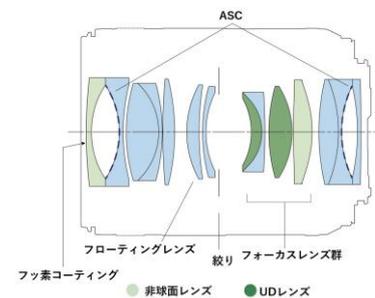
- 開放絞り値 F1.4 による大きく美しいボケ味を生かし、被写体を際立たせた表現が可能。
- 夜間や室内などの暗いシーンにおいても、感度を上げずに撮影できるため、ノイズの少ないクリアな静止画・動画撮影を実現。
- 「非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ」2 枚を効果的に配置した 11 群 14 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域で高画質を達成。
- マルチコーティングに加え、適所に特殊コーティング「ASC（Air Sphere Coating）」をレンズ面に採用することで、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストの発生を低減。
- 11 枚絞り羽根の採用により、なめらかな円形の美しいボケや絞り込んだ際の美しい光芒を実現。



大きく美しいボケ味を生かした表現が可能



夜間などの暗いシーンでも感度を上げずに撮影が可能



“RF35mm F1.4 L VCM”の光学構成図

2) VCM とナノ USM を組み合わせた電子式フローティングフォーカス制御の採用による快適な撮影

- 重い大口径レンズ駆動に適した「VCM（ボイスコイルモーター）」と「ナノ USM（超音波モーター）」を組み合わせた電子式フローティングフォーカス制御により、優れたフォーカシングを実現。
- EOS R シリーズのデュアルピクセル CMOS AF とのコンビネーションにより、高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせが可能。
- 動画撮影時のフォーカス操作に伴い画角変動が生じる「フォーカスブリージング」を徹底的に抑制する優れた光学設計により、画角変化の少ない安定した構図での動画撮影を実現。
- 最大撮影倍率 0.18 倍、最短撮影距離 0.28m を実現し、近接撮影を生かした撮影表現が可能。



「VCM（ボイスコイルモーター）」と「ナノ USM（超音波モーター）」を組み合わせた電子式フローティングフォーカス制御により優れたフォーカスを実現

3) 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

- 「EF35mm F1.4L II USM」と同等以上の高画質を実現しながら、質量を約 760 g から約 555 g に軽量化、全長を約 105.5mm から約 99.3mmに短縮し、優れた機動性を発揮。
- シネマレンズに近いクリック感なく絞り値の変更ができるアイリスリングの搭載により、動画撮影時におけるボケ味や露出の調整をより直感的にコントロールすることが可能。
- 左手で操作しやすい「レンズファンクションボタン」を搭載し、AF 設定など割り当てた機能に切り替えることが可能。また、露出補正や絞り数値の設定などを任意に割り当てて使うことができる「コントロールリング」を搭載し、直感的で快適な撮影を実現。



「EF35mm F1.4L II USM」と同等以上の高画質を実現しながら小型・軽量化を達成



取り回しに優れた機動性を発揮



直感的に露出のコントロールが可能なアイリスリングを搭載

4) 防じん・防滴性能など高い信頼性を確保

- L レンズならではの耐久性・堅牢性を実現。マウント接合部、スイッチ、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造を採用※1
- レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。

※1. 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf35-f14lv>

〈同コンセプトレンズの今後のラインアップ拡充について〉

「RF24-105mm F2.8 L IS USM Z」や今回新たに投入する「RF35mm F1.4 L VCM」に続き、静止画撮影はもちろん本格的な映像制作に貢献する本レンズを投入するとともに、今後も同コンセプトのレンズを拡充することで、ユーザーの幅広いニーズに応えていきます。



防じん・防滴構造採用箇所
(図はイメージです)



今後も同コンセプトのレンズを拡充予定